

# 北海道胆振東部

## 地震で学ぶこと

①



9月6日、午前3時7分頃に北海道勇払郡厚真町付近を震源地とした最大震度7の地震が発生しました。今回の地震では、41人もの尊い命が失われたほか、北海道全域で大停電が起き、およそ295万戸の家屋などが停電となって、一時、混乱に陥られました。

本市においても震度3を観測し、早朝の発生にもかかわらず、飛び起きて状況確認をされた方も少なくないと思います。幸いにも人的な被害や倒壊などの被害は起きませんでした。が、それでも「真っ暗なのに部屋の灯りがつかない」「状況を確認しようにもテレビがつかない」「スマホで連絡をとっているのにバッテリーが」などと停電による影響に苦しめられたのではないのでしょうか。

発生から数週間が経過し、今となっては前と変わらない生活を過ごせるようになりましたが、この経験を決して忘れてはいけません。常日頃、災害に対する意識や備えを万全にしておきましょう。

現状においても、北海道で最大の電力供給を行う発電所の全面復旧は11月以降であることや、これから暖房利用などでの電力消費により、厳しい需給の状態が続くことには変わりありません。市民の皆さまにおかれましては無理のない節電にご協力いただきますようお願いいたします。



⑨

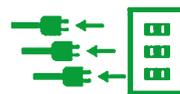


⑦

1つの部屋に集まって、テレビは省エネモードに



※家庭における消費電力の約3割は「照明」と「テレビ」です。



3本のコンセントを抜きましょう

※洗濯乾燥機、炊飯器、電気ポットなど使用時以外は抜きましょう。



⑩



⑧

朝 8時30分～  
夜 8時30分は  
節電タイム



※電気利用の多い時間帯です。できる限り節電しましょう！



## 地震による影響について

- ①地震に伴う土砂崩れ（震源地厚真町）
- ②市内のコンビニではおにぎり・弁当・パンが即完売
- ③市内のコンビニでは乾電池も即完売
- ④物資を購入しようと開店前から並んで長蛇の列
- ⑤市内各地のどこの百貨店・スーパーでも並んでました
- ⑥信号機停止に伴い、警察官が手信号で車を誘導
- ⑦ガソリン供給が停止
- ⑧ガソリン供給を制限
- ⑨いち早く電気復旧した百貨店では大混雑
- ⑩停電復旧しなくても、購入者のため入り口でワゴン販売
- ⑪自家発電設備により、通常の外来受け付けは対応できなかったものの、救急患者対応を中心に業務継続した市立総合病院（翌日から通常診療に）
- ⑫名寄庁舎でスマホなどの充電を行う方たち、ピーク時は100人以上が利用

最終的に本市の停電は、早い地域で地震当日の昼前後に復旧しましたが、市内全域での復旧は翌日の20時30分前後となり、最大41時間停電していました。

次号では災害に関する対策や備えに関してと、欠かせない情報源として一役を担った『エフエムなよろ』を特集します。

